

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	31		指導訓練室が広いので、しっかり身体を動かすことができます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	31		適切に配置しております。放課後デイの送迎に関しては必要に応じて職員体制2名で送迎しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	31		バリアフリー法に則った仕様となっております。 ※階段あり
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	31		日々、療育提供後の各部屋の清掃、使用した療育道具、おもちゃ等すべての消毒を徹底しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	31		クールダウンや集中したいときに個室を使用できるよう配慮しております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	31		効率アップと無駄のない動きを指導していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	31		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	31		管理職会議、施設長会議を実施し、それぞれの担当者が職員との面談を定期的に行っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	31		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	31		年間研修計画や外部研修への参加を通じて、毎月行っております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	31		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	31		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31		療育会議を実施し、専門職員を含めて意見交換を行っております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	31		療育会議や児発管会議を実施し、計画に沿った支援ができているか、改善するところはないかなど複数の職員で意見交換を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	31		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	31		ご利用前のアセスメント、定期で実施しているモニタリングを通じて情報共有した内容をもとに、サービス担当者会議で今後のねらいを検討し、具体的な支援内容を設定しております。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	31		各施設で活動プログラムの立案後、スケジュール会議にかけ、決定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	31		固定化していないか確認を行い、スケジュール会議で精査しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	31		個別活動が重要と考えられる児童には、集団活動とは別に時間を設けております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31		振り返りを行い、情報を共有しております。1日の活動をタイムスケジュールで管理し、担当を決めて活動しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	31		当日の振り返りは毎日行い、気付いた点は職員に声掛けを行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	31		記録の書き方についてポイントを押さえて書くように指導を行っております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	31		職員全員で各児童の課題を話し合い、支援計画に反映させております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	31		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	31		選択自由あそびや、スケジュールの自己決定支援等も取り入れ、支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	31		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	31		医療機関や機能訓練、関係機関、保育・教育等関係先とのケース会議を実施しております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	31		学校との情報共有について、保護者も含めて適宜連絡を取り合っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	30	1	児童発達支援事業所との連携を深めております。キッズの園訪問や園の先生方による見学を承っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	30	1	移行された児童がいないため行っておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	31		放課後等支援事業で来所いただいた方に助言をいただく他、社内でスーパーバイズの役割を持った者による直接指導を行っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	28	3	児童館で行われる地域連絡協議会に参加しており、コロナ以前に実施した児童館の子どもたちとの交流再開に向けて働きかけを行っております。また、地域散策にて公園などで地域の子どもたちと交流しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	30	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	31		送迎時や連絡帳にて細やかな報告が出来るよう心がけております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	31		年に2～4回ペアレントトレーニングを実施しております。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	31		契約時にすべて説明しており、その後も質問があればすぐにお答えしております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	31		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	31		支援計画を作成した後に、必ず保護者に説明を行い同意を得ております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	31		児発管だけでなく、専門職員による面談も積極的に行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	31		年2~4回実施しているペアレントトレーニングの際に、保護者同士が交流できる時間を設けております。その他、キッズにおいて親子ヨガ教室、保護者参観週間を実施させて頂きました。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	31		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	31		活動の様子をHPやパンフレット、SNSで紹介し更新しております。行事予定に関しては、前月20日前後に保護者に送付し、共有を行っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	31		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	19	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31		年間研修計画に沿って、毎月実施しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31		災害発生時の研修、実践訓練を実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	31		てんかん発作が起きたときの対応を定期的に確認し、保護者から自宅等での様子を共有してもらっております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	31		お伺いしたアレルギーに関しては、対応している他指示書を提出して頂いている児童もいます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	31		年間研修計画に沿って研修・訓練を行い、安全管理を徹底した支援を行っております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	31		契約時に説明を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	31		事案が発生した場合、当日中に記録後、職員間で共有し、対策を話し合っております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31		社内研修だけではなく外部の研修にも積極的に参加しております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	31		身体拘束マニュアルがあるが、これまで身体拘束を行ったことはありません。